

3) 今週のトピックス

感染性胃腸炎、水痘の発生は増加傾向

定点把握の対象となる4類感染症の発生状況を先週と比較すると、患者報告数は増加し、定点当たり患者数(累積)は12.59となっています。また、疾患別では、A群溶連菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、伝染性紅斑等の定点当たり患者数が増加しており、手足口病、突発性発疹等の定点当たり患者数は減少しています。

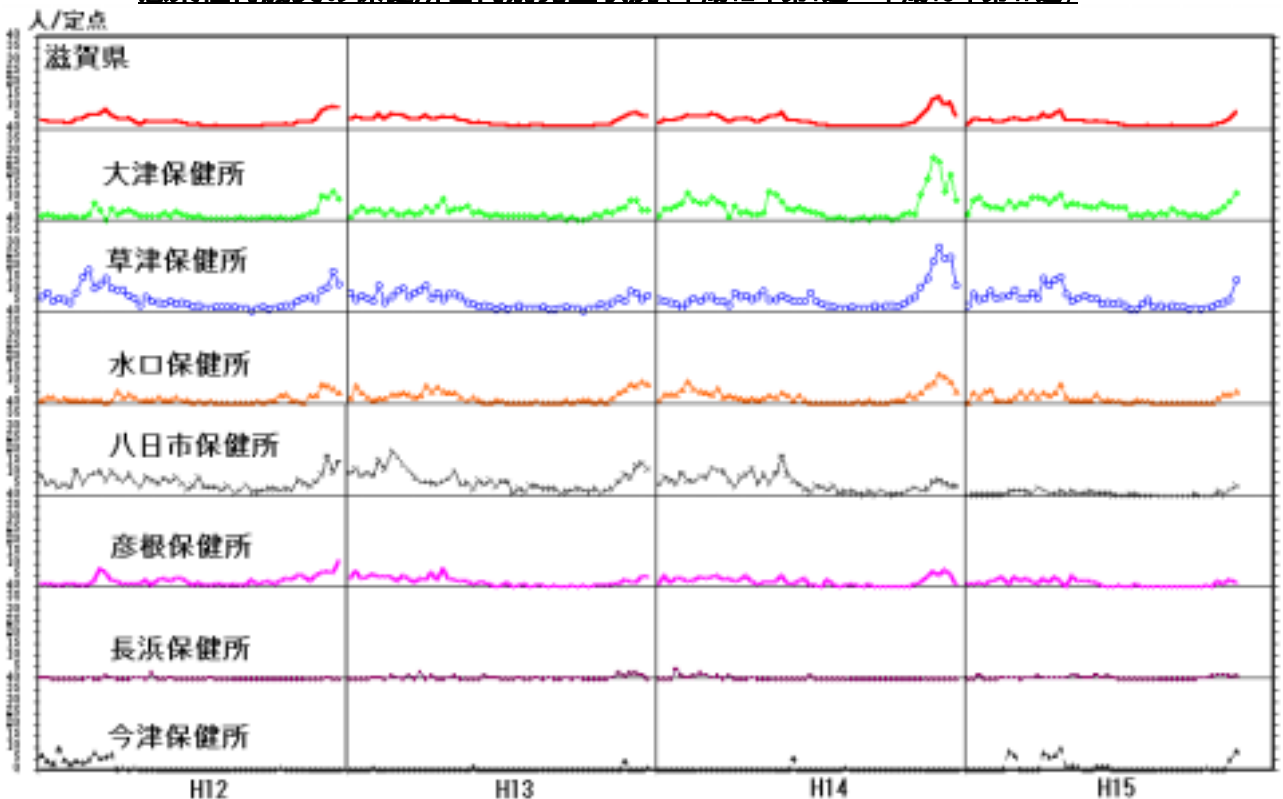
A群溶連菌咽頭炎については、先週より増加し定点当たり患者数は0.97となっています。**草津、今津**保健所管内の定点当たり患者数がやや多くなっており、それぞれ、2.00、2.50となっています。

感染性胃腸炎については、先週より増加し定点当たり患者数は7.31となっており、ほとんどの保健所管内において増加しています。特に、**草津**および**今津**保健所管内の定点当たり患者数が多くなっており、それぞれ、14.17、8.00となっています。

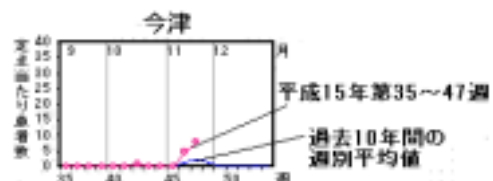
水痘については、先週より増加し、1.78となっています。特に、**草津**保健所管内の定点当たり患者数は、4.17と多くなっています。

感染性胃腸炎および水痘の保健所管内別発生状況は下記のグラフのとおりです。

感染性胃腸炎の保健所管内別発生状況(平成12年第1週～平成15年第47週)

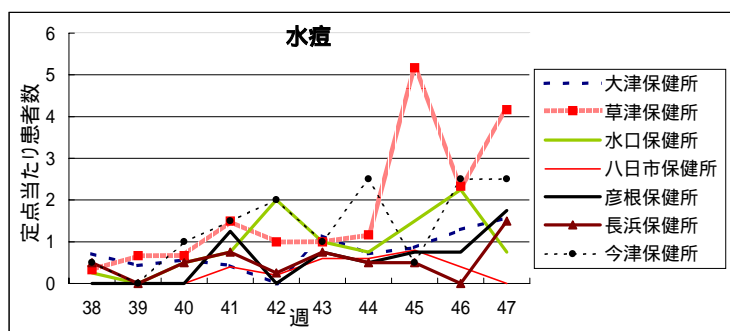


今津保健所管内における感染性胃腸炎の発生状況

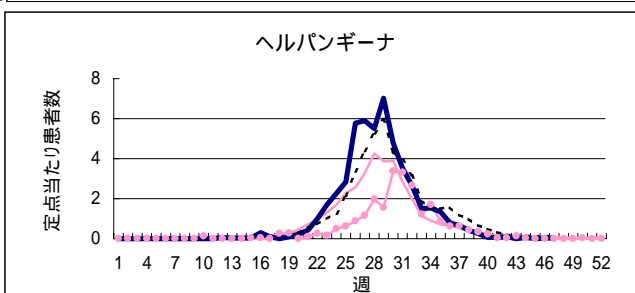
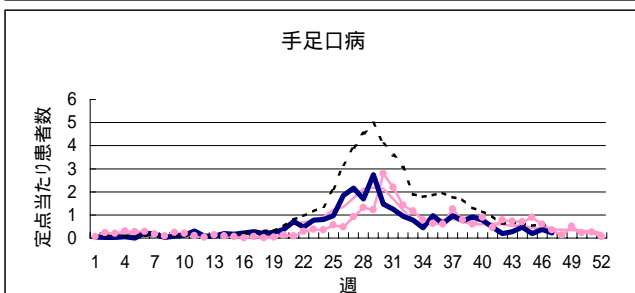
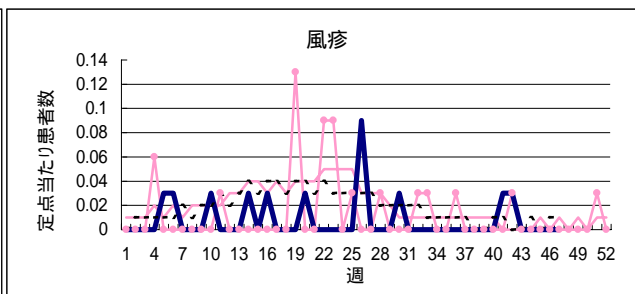
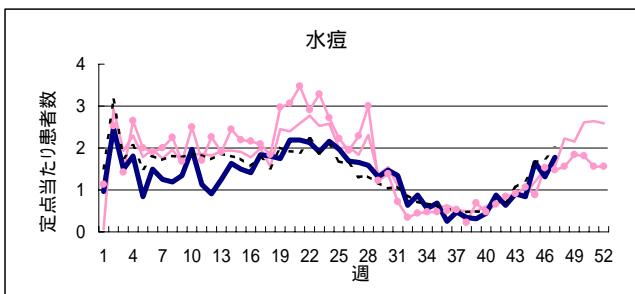
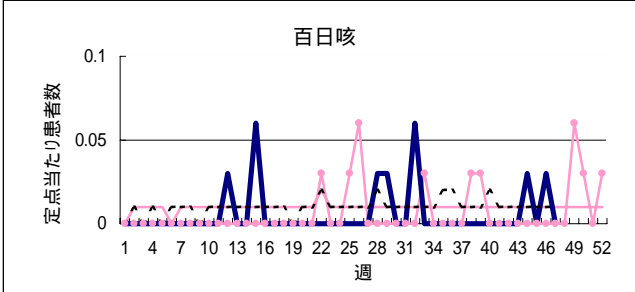
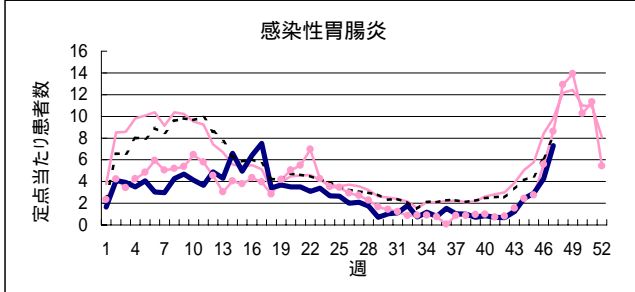
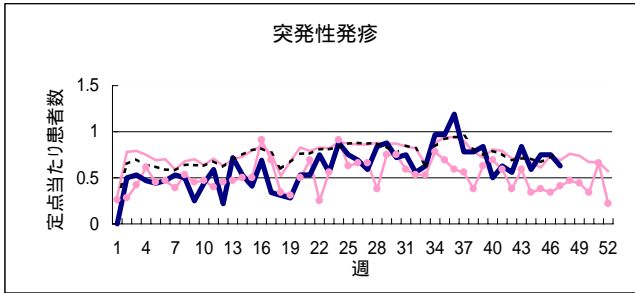
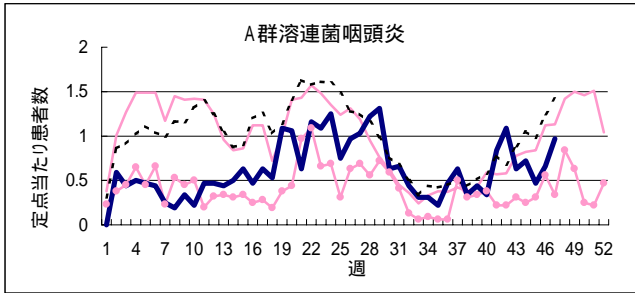
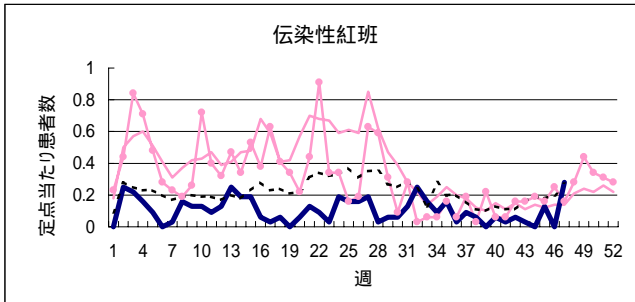
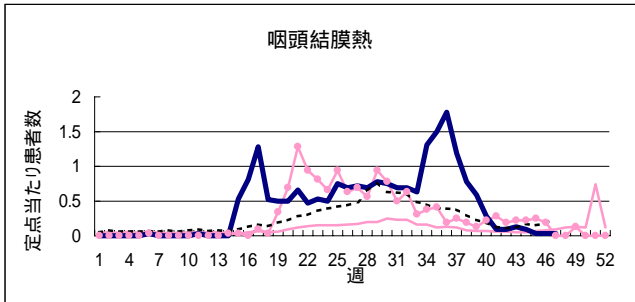
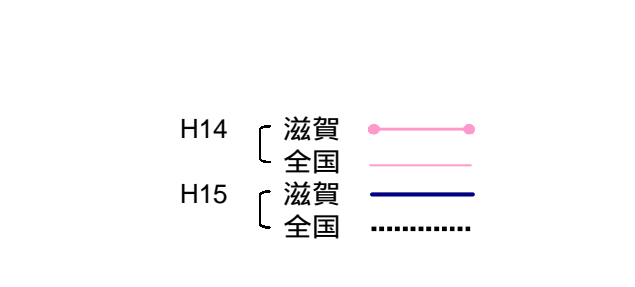
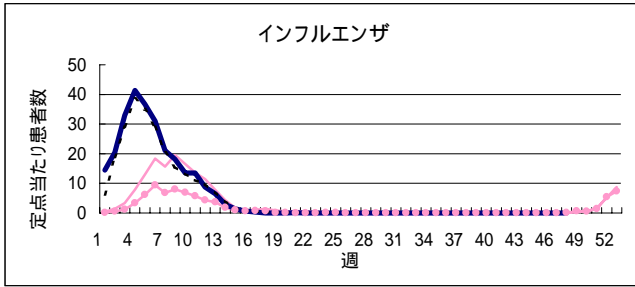


感染性胃腸炎の定点当たり患者数は、ほとんどの保健所管内において増加傾向を示しています。特に、今津保健所管内の定点当たり患者数は、過去10年間の週別平均値と比較すると、かなり多くなっています。

水痘の保健所管内別発生状況
(平成15年第38週～第47週)



疾病別定点当たり患者数(平成15年第1週～第47週)



疾病別定点当たり患者数(平成15年第1週～第47週)

H14 〔 滋賀 ●●●●●● 全国 ○○○○○○ 〕
 H15 〔 滋賀 ———— 全国 - - - - - 〕

